

【玉川地区】令和6年度あつぎタウンミーティング実施結果

日 時:令和6年8月6日(火) 午後7時～午後8時
 会 場:玉川公民館2階集会室
 参加者:地区の自治会長(15名)、公民館地区館長、
 市長、副市長、教育長、企画部長、企画部次長、総合計画担当課長、公民館・地区市民センター長

自治会長からの意見

市長等からの回答

意見1 自然の保全と観光機能の強化について

【観音谷戸自治会】

■玉川地区は、丹沢山麓の豊かな自然資源に恵まれ、生物の貴重な生息の場となっているとともに、ふるさとの原風景が残り、豊かな自然環境と共生した集落地や里地里山景観が形成されています。また、古くから温泉地として親しまれ、周辺にはハイキングコースなどもあるため、多くの方が訪れています。例えば、七沢地区の谷太郎川最深部の不動尻にミツマタの大群生地があります。3月から4月の開花期に多数の観光客が訪れていました。今後とも、この豊かな自然を保全し、未来に継承していくとともに、地域の活性化のための大切な資源として活用してほしいと思います。

今後、必要になると思うのは、将来、厚木秦野道路などの広域的な道路ネットワークが整備されると、利便性が高まり、広域からの観光客が増加することが期待されますので、交通アクセスや林道、駐車場などの整備強化が必要と考えます。令和5年度の厚木市市民意識調査における「観光の活性化への取組」において、観光の活性化でどのような取組が重要であるかとの問いには、「駐車場の整備などの交通の利便性の向上」が3割半ばで最も高いという結果でした。この玉川地区が広域観光圏の中心になるよう、ぜひ、整備をお願いします。

■厚木秦野道路の開通が将来的に望まれるところですが、新東名においても伊勢原大山インターが完成し、2027年には全線開通が予定されているところです。玉川地区は清らかな水を源泉とする温泉やハイキングコースなど、素晴らしい観光資源があり、こうしたものを磨き上げながら情報発信することによって、交通網の整備との相乗効果により、多くの方が玉川地区に訪れていただけるのではないかと期待を寄せています。

駐車場の整備の重要性については、市民意識調査においても高い関心があることは承知しておりますが、これまで以上に当該地区に多くの方々に滞在していただけるように、駐車場整備に取り組んでまいります。

また、美肌の湯と言われる七沢温泉は泉質が素晴らしいことでも有名ですので、あつぎ温泉郷としてPRしていくことで、更なる魅力が創出されると考えています。林道の整備については、すべての皆様が安心安全に通行できるよう、県と連携し整備に取り組んでまいります。

今後も、皆様と連携を深め、本市の観光資源を多く有する玉川地区の魅力さをさらに磨き上げるとともに、積極的な情報発信を行ってまいります。

(担当課:商業観光課)

意見2 災害に強いまちの形成について

【馬場・滝・深田・原自治会】

■玉川地区は大半が山であって急斜面が多く、そのほぼ真ん中を玉川が流れており、土砂災害や風水害の危険度が非常に高い地域です。個人でできることは、風水害ではハザードマップの確認や情報収集、屋根や外壁、窓のチェック、それから土のうの準備、地震では住宅の耐震化、飲料や食料の備蓄などの対策ができると思います。地域としても近隣の世帯同士がお互いに助け合えるような関係を自治会としても築けるように考えております。

ただ、懸念していることは、風水害の指定避難所のことです。小野、岡津古久地区は玉川中学校、七沢地区は県の自然環境保全センターが風水害の指定避難所になっております。この場合、心配なのが多数の避難者が発生した場合、夜間や施設の休館日、施設の規模や備蓄品など、経年劣化もありますし、不安です。そこで神奈川総合リハビリテーションなどを指定避難所にできないかを提案します。

また、玉川地区には、ぼうさいの丘公園のような防災に使用できる広い広場や公園がありませんので、避難場所や防災意識を高めるため、広場や公園整備をご検討をお願いします。

■玉川地区においては、風水害で大変懸念をされる中、神奈川リハビリテーションについては、県の施設ですが、しっかりと玉川地区の皆様が避難できる場所として、神奈川リハビリに調整してまいります。

そして、ぼうさいの丘公園のような防災機能を持った公園の整備については、この辺においては、七沢森林公園がありますが、山の中にある公園で土砂災害特別警戒区域が分布されているエリアです。もし避難して2次災害、3次災害が起こってはなりません。こうした地域の皆様は、行政として大変重要で、皆様の命と暮らし、財産をどう守っていくかが、我々の責務であると考えておりますので、しっかり務めてまいります。避難にあたっては、避難場所等々、是非、3Dデジタルマップを活用しながら改めて安心安全な場所を見つけていただくことも必要です。まずは自分の身は自分で守るという自助、そして自治会の皆様の共助につながり、我々行政が公助として皆様を守っていく、自助、共助、公助が成り立つためにも自分の身は自分で守るということを皆様に認識していただければと思います。

《実施日以降の対応状況等》

■御要望の神奈川リハビリテーション病院については、使用に向けて調整を行っているところです。今後についても災害に備えて、安心安全な避難場所の確保に引き続き努めてまいります。

(担当課:危機管理課、公園緑地課)

意見3 小野橋周辺の渋滞解消と玉川沿いのバス停について

【堀合自治会】

■玉川の交通状況についてお話しします。先日、大山インターチェンジにアクセスする西富岡バイパスが開通しました。開通に伴って、小野橋交差点がだいぶ渋滞しております。この小野橋交差点は玉川地区の要で、七沢地区、小野地区、さらに森の里地区から駅まで行くには必ず通過する交差点になります。最近トラックが増えている状況ですが、森の里東土地区画整備事業等が進んでいくと、物流センターができて更にトラックが増える可能性がありますので、是非、県と調整して対策をお願いします。

玉川沿いにある小野橋と玉川農協前の厚木方面のバス停は、河川区域に設置しているため、利用しにくいという話があります。なかなか難しいのですが、例えば横断歩道に寄せるなど、神奈中と調整して対策を考えていただきたいです。

■小野橋交差点の渋滞は、市としても認識をしています。この渋滞をどう解消していくかについては、県道でもあるので、今回、知事への要望においても県の道づくり計画に取り込んでいただきながら、渋滞解消に向けて県の方でも強力で考えていただきたいと要望をしたところです。この件については、絶えず取り組むとともに、道路をどうしていくかについては、地元の皆様の御協力をいただかなければならないので、お力添えをお願いします。

玉川沿いのバス停については、現場を確認し、課題として認識をしているところです。神奈中との協議もあり、厳しい部分もありますが、皆様の生活における安心安全、また生活しやすい環境を作るため、取り組んでいかなければならない課題です。神奈中や関係機関と調整しながら、課題解決に向けて取り組んでまいります。

(担当課:都市計画課、道路総務課(国県道調整担当))